

リンゴ「 ^{きんしゅう} 錦秋」の果実特性			
[要約] リンゴ「錦秋」は果皮が濃赤色で甘みが多く、早生ふじと比較して着色が優れ、果実品質は同等以上である。			
茨城県農業総合センター山間地帯特産指導所	令和2年度	成果区分	技術情報

1. 背景・ねらい

本県の気候は他のリンゴ主産地と比較して温暖な気象条件下にあり、高温による着色や果実品質の低下が懸念されている。特に、9月中下旬に収穫する早生ふじ等の赤色中生品種では、収穫期の高温により着色不良や果実品質のバラツキが発生している。そのため、本県気象条件下でも着色が優れる新品種として期待される「錦秋」の品種特性を明らかにする。

2. 成果の内容・特徴

- 1) 「錦秋」の発芽日は3月22日、満開日は4月24日であり、早生ふじの「紅将軍」(対照品種)と比較して発芽は1日早く、満開は1日遅い(表1)。
- 2) 「錦秋」の収穫時期は9月9日から25日であり、「紅将軍」と同時期である(表1)。
- 3) 「錦秋」の果皮色は濃赤で、形状は円である(表1、図1)。
- 4) 「錦秋」の大きさは281gで「紅将軍」と同程度であり、糖度は14.1%で「紅将軍」と比較して高い(表2)。
- 5) 「錦秋」の外観(大きさ3.47、果色4.09)及び食味(食味3.92、歯触り3.48、香り3.47)の評価は「紅将軍」と比較して高い(図2)。

3. 成果の活用面・留意点

- 1) 「錦秋」は(国研)農業・食品産業技術総合研究機構が、「千秋」に4-4349(「つがる」×「いわかみ」)を交配して育成し、平成31年4月23日に品種登録された品種である。
- 2) 「錦秋」のS遺伝子型は S_3S_7 であり、「つがる」とは交雑不和合性を示すが、「つがる」以外の主要品種とは交雑和合性である。
- 3) 本成果は、久慈郡太子町の山間地帯特産指導所ほ場において調査した結果である。
- 4) 本試験は、葉摘み及びシルバーシートの設置等の着色管理を同一条件で実施した。
- 5) 生育及び果実特性は2～3年間の試験結果であり、生育期間の気象条件により特性が変化する可能性がある。
- 6) 本試験で調査した「錦秋」と「紅将軍」の台木及び樹齢は異なり、台木及び樹齢による生育及び果実特性への影響は考慮していない。

4. 具体的データ

表1 リンゴ「錦秋」の生育特性 (H30-R2)

品種	台木	樹齢 (年)	発芽日 (月/日)	満開日 (月/日)	収穫期 (月/日)	果皮色	表面色 (1-6)	形状
錦秋	M9	8	3/22	4/24	9/9~9/25	濃赤	5.7	円
紅将軍	JM7	20	3/23	4/23	9/16~9/24	赤	4.1	円筒

1) 樹齢：令和2年現在の樹齢 2) 果皮色：日本園芸植物標準色票で判定
3) 表面色：「ふじ」用表面色カラーチャートで判定

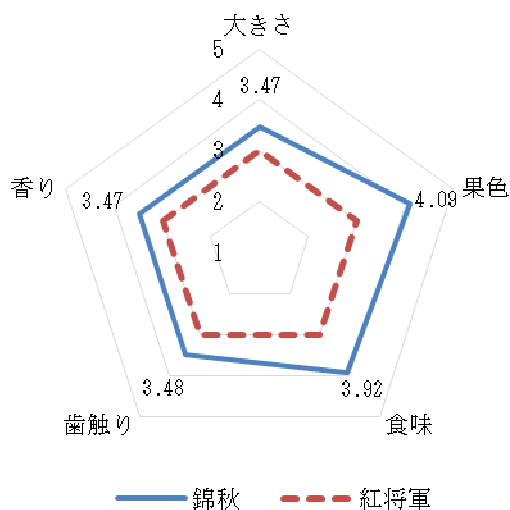
表2 リンゴ「錦秋」の果実特性 (R1-R2)

品種	一果重 (g)	硬度 (lbs)	糖度 (Brix%)	酸度 (g/100ml)	デンプン 指数 (0-5)	室温 日持ち (日)	特記 事項
錦秋	281	12.9	14.1	0.32	0.8	5~10	収穫遅れで裂果
紅将軍	274	12.5	13.2	0.34	1.0	5~10	ツル割れ

1) 調査果実：中庸な25果を調査 2) 酸度：果汁の中和滴定反応からリンゴ酸含量を算出
3) デンプン指数：ヨードデンプン反応から、青森県りんご生産指導要項の基準に従い判定



図1 「錦秋」(左)及び早生ふじ「紅将軍」(右)の果実



- 1) 実施日：令和元年10月3日
(いばらき農業アカデミー)
- 2) 場所：山間地帯特産指導所(大子町)
- 3) 評価者：32名(うち生産者14名、関係機関18名)
- 4) 果実：両品種9月24日に収穫し、冷蔵保存(2℃)
- 5) 方法：評価者は各項目について「錦秋」を「紅将軍」と比較して1(不良)、2(やや不良)、3(同程度)、4(やや良)、5(良)の5段階で評価

図2 「錦秋」に関するアンケート結果 (R1)

5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

気候変動に適応した品質の優れたリンゴ品種・系統の選定 平成31年~令和5年度
山間地帯特産指導所